

「特別体験事業」事業計画書

申請種別	事業名		本ファイルでの申請事業	併願申請時優先順位	様式2再掲	対象経費合計	80,000,000	支援(補助)希望額	80,000,000	
	国・地方公共団体等所管事業 (インバウンド3,000名以上又は高付加価値化)		✓	1	左記「申請」及び「併願申請時優先順位」の選択をお願いします。 ※該当しないものは「-」を選択してください。 ※同一事業の「国・地方公共団体等所管事業」と「民間企業等支援事業」との併願申請は可能です。 ただし、民間企業等支援事業①と②との併願申請は出来ません。 ※選択いただく申請種別により対象となる支援額等が異なります。 ※併願申請を行う場合、該当する申請種別ごとの申請書類一式(本ファイル等)の提出が必要です。 ※一つの事業者が申請する事業数に限りはございません。事業ごとに申請を行ってください。					
	民間企業等支援事業① (インバウンド3,000名以上)									
民間企業等支援事業② (高付加価値化)			2							
① 実施体制	事業名 ※事業内容が分かるものとしてください。 採択時等、この登録名で公表を行います		国宝限定公開、プレミアムディナーのスペシャルナイトイベント							
	事業実施箇所	都道府県	●●県 ※複数の地域で実施の場合、実施する地域を全て列挙すること							
		市区町村	△△市					地方プレミアム体験コンテンツとしての選定を希望するか	はい	
	実施主体	名称 ※採択時等、この名称で公表を行います。		△△市						
		代表者	役職	部長						
			氏名	地域 太郎 ※フルネームで記載すること						
		住所	〒	〒000-0000 ※3桁+4桁の数字を〒やー無しで記載すること(表示は自動変換されます)						
			●●県△△市							
		担当部局	部局名	産業振興部 観光課						
	電話番号		XXXXXXXXXX ※半角 市外局番からハイフンなしで記載すること ※連携する組織が複数ある場合はすべて記載すること							
e-mail	kaigai@city.***.lg.jp									
氏名	海外 太郎 ※フルネームで記載すること									
連携先 ※必要に応じて適宜行を追加すること ※必要に応じて、記載した連携先について、様式5「国・地方公共団体等の同意書」を提出すること	連携先	団体/組織名	担当部署及び氏名	電話番号 市外局番からハイフン無し	役割	当事業での連携の同意の有無				
	連携先①	●●県	知事 ○○○○ ※フルネーム記載	XXXXXXXXXX	指定管理施設の利用許可、企画の実施	有				
	連携先②	●●DMO	理事 ○○○○	XXXXXXXXXX	共同プロモーションの実施	有				
	連携先③	宗教法人 ●●神社	宮司 ○○○○	XXXXXXXXXX	国宝の文化財の公開、夜間拝観の実施	有				
	連携先④	公益財団法人伝統○○組合	代表 ○○○○	XXXXXXXXXX	日本舞踊、着付けの実施	有				
	連携先⑤	○○株式会社	旅行事業部 ○○○○	XXXXXXXXXX	旅行企画・造成・販売	有				
国・地方公共団体、独立行政法人が所有・管理等を行う施設・公園・物品等を、従来は行っていない方法で活用する場合、当該施設・公園・物品等を記入		●●県立美術館 ●●神社 国宝 △△△								
国・地方公共団体が所有し、登録DMO及び公益財団法人等が運営管理を行う施設・公園・物品等を、従来は行っていない方法で活用する場合、当該施設・公園・物品等を記入										
② これまでの実績	インバウンドに係る課題 ※セルの中で改行する場合はAlt+改行キーを押下してください(以下同)		※簡潔に記載すること ●●神社は訪日外国人にも人気のスポットであるが、17時には閉門する。また、神社に隣接する●●県立美術館も通常夜間営業は行っていない。当地区には夜間のアクティビティが無く、日中の混雑を夜間時間帯に分散させつつナイトタイムエコノミーを活性化させることが課題							
	観光再始動事業等これまで活用した支援事業等及び 過年度の支援を踏まえて今回新たに取組む点		※令和4年補正予算観光再始動事業採択案件の類似提案の場合、申請時目標及び客観的な実績を明示の上、当事業における改善内容を明記 ※簡条書きで記載すること ※具体的取り組み等課題と解決に向けた取り組みをセットで記載すること ●●県立美術館については、過去に医学系国際学会でのウェルカムパーティーとして夜間の活用を行った。外国人参加者やオーガナイザーから好評。今回新たに一般の方にも日本庭園の夜間開放と、食事の提供を行いたい。これまでも、●●神社についてはパンフレットやHPの多言語化を実施し、訪日外国人の訪問も増加しつつあり観光スポットとして認知されはじめています。							
具体的な取組内容	今回申請する「特別体験事業」の事業概要		※簡潔に記載すること 2024年9月から11月に、国宝および日本庭園を中心に日本の伝統美と食事が堪能できる、集客イベントとプレミアムイベントの実施。 ●●県立美術館の日本庭園に、特別舞台を仮設し、日本舞踊の特別公演を実施する。夜間の特別開放は一般参加は当日参加可能にし、喫茶の提供など行うことで、滞在時間を楽しんでいただく。ミシュラン店のシェフによる地元の特別食材(地元の酒のペアリングや、通常入手が難しい初物の特等食材など)の活用 ●●神社が保有し、通常非公開の国宝文化財 ディナーに合わせた和装着付けや写真撮影などのアラカルトのサービスコンテンツを開発、販売し、客単価の向上を図る。 本プログラムの参加者には、●●神社が保有し、通常非公開の国宝を期間限定で公開する。 加えて、通常夜間は閉鎖している●●神社夜間参拝を実施する。							
	活用する観光資源の詳細 (文化・自然・食・スポーツなど)		※簡条書きで記載すること ●●県立美術館の日本庭園(通常は回遊式での観覧のみ) ミシュラン店のシェフによる地元の特別食材(地元の酒のペアリングや、通常入手が難しい初物の特等食材など)の活用 ●●神社が保有し、通常非公開の国宝文化財 通常夜間は閉鎖している●●神社の夜間公開							
	造成する体験コンテンツ・イベント等		●●県立美術館の日本庭園に、特別舞台を仮設し、日本舞踊の特別公演を実施する。 夜間入場と、喫茶の提供。 ミシュラン店のシェフによる地元の特別食材を活用した、予約型のプレミアムディナー。 ディナーに合わせた和装着付けや写真撮影。 本プログラムの参加者には、●●神社が保有し、通常非公開の国宝を期間限定で公開。 通常夜間は閉鎖している●●神社の夜間公開							
	造成する体験コンテンツ・イベント等の特別性 (公募要領を確認し、具体的に記載すること)		通常非公開の国宝を期間限定で公開(これまでは、〇年の頻度でしか公開実績なし。) 通常夜間は閉鎖している●●神社夜間参拝の実施 通常は回遊式観覧を行い、夜間の利用は行われていない●●県立美術館の日本庭園にて、特別舞台を仮設し、日本舞踊の特別公演を実施。 地元でも入手が難しい初物の特等食材の活用							
造成する体験コンテンツ・イベント等が上記ターゲットを惹きつける理由		過去にイギリスからの団体ツアー客に向けて日本舞踊を実施した実績があり、その際に高い評価を得ている。 他の事業者によるユニークメニューでの野外プレミアムディナー(参考URL...)について、8万円程度の客単価が確認できており、欧州からのインバウンドに大変好評だったと聴取している。 当地にてツアーを主催している欧州の旅行会社からも今回造成するコンテンツの内容について高い評価が得られている。 当地区は、夜間のアクティビティがなく、ホテルに戻った宿泊客が楽しむ場所がなかったため、ホテルから要望があがっていた。								

③ 事業内容	現場での外国語対応	受入現場での多言語対応方法(ツール名、対応言語)					
		対応方法	該当に✓	対応言語			
		通訳案内士・外国語ガイドの活用	✓	英語・中国語(繁体字及び簡体字)			
		施設等での外国語表記	✓	英語・中国語(繁体字及び簡体字)			
	その他(右記に具体的な方法を記載すること)	✓	デジタルサイネージ				
	造成する体験コンテンツ・イベント等 販売等スケジュール	販売等の開始時期			体験コンテンツ・イベント等の実施期間 ※本事業の対象事業は遅くとも令和7年2月28日まで		
		令和6年7月1日(月)発売開始予定			令和6年10月1日(火)~12月27日(金)		
	インバウンドの主なターゲット	市場	該当に✓	具体的な国・地域及びターゲットの属性並びにその理由			
		東アジア	✓	中国・台湾・香港(当地域の宿泊施設利用者が多く、SNSでの情報発信も盛んに行われている)			
		東南アジア	✓	タイ・シンガポール・インドネシア(当地域の宿泊施設利用者が多く、SNSでの情報発信も盛んに行われている)			
その他アジア・オセアニア							
中東							
北米		✓	アメリカ(●●タイムスの「訪れてみたい世界の観光地」に当地域が選出され、人気が高まっている)				
欧州		✓	イギリス・フランスを中心とした欧州からの団体ツアー客(主に高齢層、初訪日層)当地にはこれまでも同国からの団体ツアー訪問実績があり、同国の方が当地の日本庭園や、仏教関連の文化財や郷土文化に強い関心を示していることが確認できている。また、これらの国の旅行会社とも定期的な情報交換を行っており、販売が見込める。				
その他							
販売計画	インバウンドへの販売・情報発信	販売等の手法(該当する項目を選択、具体的な販路・セールス先を記載すること)					
		販売・情報発信等	該当に✓	具体的な内容を記載すること			
		外国語に対応した、コンテンツ予約可能な自社ホームページ	✓	※作成必須。既に既存のものがある場合はURLを記載ください http://kaigai××.jp			
		旅行者(海外・国内)	✓	〇〇旅行社(国内) 〇〇旅行社経由の海外旅行者10社			
		外国語に対応したOTA等のオンライン販売プラットフォーム	✓	××DAY TRIP×× ××TRAVEL のOTA2社を活用			
		宿泊施設、観光案内所など	✓	宿泊施設での案内、観光案内所での事前決済予約			
		地図情報サービス(例:Googleビジネスプロフィール等)への情報入力	✓	既にプロフィールを運用			
		予約検索表示サービス(例:Google Things to do等)の活用	✓	既に同サービスを活用			
		その他(アプリ含む)					
		現地におけるキャッシュレス化の推進	—				
インバウンド向けの効果的な販売促進計画(SNSの活用等)	<ul style="list-style-type: none"> ・OTAの商品登録を行い、多言語で商品の認知を上げる ・事業開始時すまやかにWEBサイトで告知を行う ・OTAの記事広告を行う ・宿泊施設のWEBサイトで情報をアップしてもらう ・インバウンド客が多い近隣の観光施設と連携して、相互情報としてWEBサイト上で記事を設置する ・特別のタグを設定して、観光関連事業者のポストに活用してもらい、情報拡散を行う。 SNSサイトに体験者のポストを上げ、リアリティのある情報発信を行う 						
④ 事業の目標	誘客効果(単位:人、円) ※数字のみ、令和7年2月末までの実施事業期間内であること 入力例)3千人→3,000人 入力例)8千万円→80,000,000	インバウンド誘客見込数(A)	想定直接客単価(B) コンテンツ・イベントの直接収入 ※複数ある場合は平均値	想定波及客単価(C) 波及効果を含む想定客単価(C) Bを含む地域経済等の波及効果	希望支援額(D) ※【様式2】の「国が支援(補助)する経費」様式2入力後自動反映	直接事業効果(A×B/D)	波及事業効果(A×C/D)
		620人	80,000円	150,000円	80,000,000円	0.62円	1.16円
	インバウンド集客見込数の算出式及び算出式の根拠	<p>記載に関しては根拠となる数値や参考となる商品などを記載すること※実施稼働日数に対する販売計画※ターゲットの行動と消費の傾向がわかる参照データ※販売等の計画の元となる独自のデータ・コロナ後(2022年)における当地周辺の宿泊施設のインバウンドの年間宿泊数は、聞き取り調査及び推計値で概ね1万5千人泊と回復している 今回の事業期間(9月~11月の3か月間)で約4000人泊と推計。周辺の宿泊施設経由での販売を行い、宿泊者の8%が購入すると仮定して、320人の集客を見込む。*宿泊施設から聞き取ったインバウンド宿泊者の当地の体験プログラム(有料)の参加割合。・欧州から●●県への団体ツアー(50人規模)が平均して月2回催行されており、今回の事業期間内に催行される当該団体ツアーに販売を行うことを想定して、1か月2回×3か月で合計6回の催行を想定し、300人の集客を見込む。・加えて、コロナ後(2023年)において、●●神社には、聞き取り調査及び推計値で概ね年間1万人の県内外からの訪日客の来訪の回復があった。</p>					
	想定客単価の算出式及び根拠 (高付加価値化の要件を満たすこととする場合は、通常の単価とその根拠)	<p>単なるディナーは、通常のコースが2万円であるが、造成コンテンツ全てをパッケージとして一人8万円とする(通常価格の4倍)。 高付加価値は、地産だけでなく通常食事ができない場所での食事提供。 ・●●県立美術館の日本庭園に、特別舞台を仮設し、日本舞踊の特別公演を実施する。(8,000円) ・夜間入場と、喫茶の提供。(3,000円) ・ミシュラン店のシェフによる地元の特別食材を活用した、予約型のプレミアムディナー。(50,000円) ・ディナーに合わせた和装着付けや写真撮影。(19,000円) 加えて、周辺宿泊30,000円 二次交通20,000円 お土産20,000円など周辺消費を合すると想定波及が150,000円となる。</p>					
インバウンド消費の質の向上策	<p>※地域の自然・伝統文化活用、食の地産地消、地域人材の所得向上に資する工夫等を通じ、地域の経済循環に資するものや持続可能な観光へ寄与するもの 夜間特別拝観に伴い、日中の観光客分散を図り、オーバーツーリズム対策の実施。 ディナー時の体験である和装着付けについては、地元で歴史ある呉服店を営む3代目目主ならびにその弟子が対応することで、技能伝承の機会も創出。 地域の特産品を使用することで、地産地消を促進し、地域で生産に関わった方々に還元する。</p>						
⑤ 事業の将来性	当事業KPI	アウトプット(主体者視点) 事業において、事業主体がターゲットに向けて生み出すモノ・コト(成果目標)	<p>【記載例】体験コンテンツの企画数、内容、種類、本数、パッケージツアーの企画数、内容、種類、本数、開発した特産品等の種類、数量、高付加価値化された販売価格、多言語化されたWEB制作頁等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・●●県立美術館の日本庭園の夜間入場と日本舞踊及びプレミアムディナーを実施。 ・通常非公開の国宝を期間限定で公開 ・通常夜間は閉鎖している●●神社夜間参拝の実施 ・上記プログラムを旅行商品として造成:一般1件、プレミアム1件 合計2件 				
		アウトカム(ターゲット視点) 事業の結果、事業主体が生み出す成果に対してターゲットの行動変容などによる実現可能な指標や目標など(結果目標)	<p>【記載例】体験コンテンツに対するの評価、体験コンテンツの参加人数や収益、パッケージツアーの参加人数や収益、入場人数、特産品などの販売個数や売り上げ、客単価、WEBサイトアクセス数、エンゲージメント数等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・●●県立美術館での夜間の日本舞踊と特別プレミアムディナーの購入者数600名(インバウンド含む) ・旅行者によるSNSへの関連投稿1000件 ・夜間入場4000人 				
次年度以降の取り組み	<p>※本事業で得られると見込まれる特徴的なナレッジを活用して、次年度以降の取り組みを記載してください</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケートによる満足度調査を踏まえて、商品の内容を改善した上で、引き続き、●●DMOで販売していく。 ・一般の夜間入場が好評な月は、次年度も実施を検討する。 ・次年度以降は、本事業の販路の拡大・宿泊とも組み合わせたよりプレミアムな特別ツアーの造成を行う。 						

※様式2及び様式3の記載事項との整合性が確認できるものとなるよう作成してください。

※必要に応じて、欄を拡大して記載ください。ページ数が増えても構いません。

※「実施体制」の項目を除き、行の追加は行わないでください。

※必要に応じて、図や画像を添付することができます。ただし、これらの図や写真は観光庁ホームページ等で使用する可能性があるため、公表可能なものを添付してください。(1MB程度かつ一目で何が映っているか分かりやすいもの推奨)

※その他の留意点等については、公募要領を参照してください。